

R6 年度上半期の主な事業の取組について

【文化創造推進課】

1 第1回「はちのへアート広場」ひろば交流会の開催

○テーマ：クリエイティブビジネスの振興について

日時 令和6年7月19日（金）13:30～

場所 はっち2階 シアター2

内容 近年、伝統工芸や障がい者アートの魅力と価値の発信の手段として、商品パッケージや広報物デザインへの活用など、従来とは違った角度で商品化し、市域を超えた広域的なビジネスが展開されている。このように文化芸術活動とクリエイティブビジネスの多様なコラボレーションや異文化との融合による新しい取組について考える。

コーディネーター はちのへ文化のまちづくりアドバイザーボード 太下委員長

パネリスト 株式会社金入 代表取締役社長 金入 健雄 氏
株式会社ニューモア/想造楽工 代表 宮島 依子 氏

参加者数 25 名

参加対象者 文化活動団体、一般市民、中心商店街店舗経営者、まちづくり関係者

2 「はちのへアートフォーラム」の開催

概要 社会にとって文化芸術が果たす役割を問い直し、考え、共有する機会とし、八戸地域における文化芸術活動の活性化と持続的な地域発展の実現を目指し、文化芸術に関する講演会を開催した。

日時 令和6年6月29日（土）15:30～

会場 はっち1階 シアター1

テーマ 「本と種、そして酔っ払いに愛を」

講師 アーツカウンシルしずおか アーツカウンシル長 加藤 種男 氏

聞き手 文化事業ディレクター・演出家 吉川 由美 氏

参加者数 50 名

3 更上閣ガーデンレストラン・ヨルニワ

イベント概要 国の登録有形文化財である更上閣及び更上閣にぎわい広場を市民に広く知ってもらい、日常的な利用促進につなげることで、また中心街の回遊と賑わい創出を目的に、キッチンカー等を活用した「更上閣ガーデンレストラン」を開催した。また、音楽演奏を聴きながら飲食を楽しむ夜のイベント「ヨルニワ」を、美術館と連携して実施した。

日時 令和6年6月5日（水）～8日（土）11時～15時まで

出店回数 10 事業者 延べ30回（うち3事業者で延べ11回がテントでの出張販売）

来場者数 約777人（カウンターにより計測・1日平均約194人）

※更上閣見学者数：40組83人

【昨年度】

ガーデンレストラン：4日間で約874人（1日平均約220人）

更上閣見学者数：28組71人

ヨルニワ（夜の音楽イベント）

日 時 令和6年6月8日（土） 17時～19時まで

出店者・出演者 更上閣・更上閣にぎわい広場 7店舗・2組

美術館マエニワ 3店舗・1組

来場者 更上閣・更上閣にぎわい広場 405人

美術館マエニワ 822人

4 はちのへ文化のまちづくり推進事業補助金の活用状況（9/30時点）

令和6年度予算額 1,400千円 補助実績 8件 875千円（見込）

(1) 演奏会に対する支援 426千円 (単位：千円)

	補助申請者	演奏会名	補助額
1	八戸ウインドアンサンブル	第35回定期演奏会（5/26開催）	106
2	八戸ジュニアオーケストラ	第33回定期演奏会（9/8開催）	170
3	八戸市民フィルハーモニー交響楽団	秋の名曲コンサート（10/20開催）	150

(2) 大会出場に対する支援 0千円 (単位：千円)

(3) 文化芸術活動に対する支援 449千円 (単位：千円)

	補助申請者	補助事業名	補助額
1	インフィニートコラルコ弦楽合奏団	小規模校の音楽鑑賞教室開催	100
2	久保田 久美絵	Qloom Papel art activities （書道とペーパーアートの融合）	100
3	（一社）裏千家淡交会青森支部八戸分会	七夕茶会	49
4	劇団やませ	中学生たちを演劇へ招待	100
5	Ao 長塚 佳子	Ao 5人の自閉症の方が創る作品 の展示会	100

【ブックセンター】

(1) ギャラリー展

① 「さがるまーたができるまで」

会期：令和6年3月9日～5月12日

概要：絵本雑誌「さがるまーた」に掲載されている作家の作品等の展示

② 「へそまがりの魔女原画展」

会期：令和6年5月25日～6月23日

概要：絵本『へそまがりの魔女』の原画等の展示

③ 「tupera tuperaのかおてん.裏側展」

会期：令和6年7月6日～9月1日

概要：美術館「かおてん.」との連動企画展示

④ 「ブックデザイナーの仕様書展」

会期：令和6年9月21日～11月24日

概要：ブックデザイナー3名の制作過程などの展示

(2) 本のまち連続講座

① 「音楽学者からみた「宮沢賢治と音」

開催日：令和6年6月1日・15日（2回講座）

講師：木村直弘氏（岩手大学教授・宮沢賢治いわて学センター副センター長）

概 要：宮沢賢治を音楽学から掘り下げる連続講座（参加者 13 名）

②「マイケル・サンデルを読んで「正義」の話をしよう」

開催日：令和 6 年 8 月 31 日・9 月 7 日・21 日（3 回講座）

講 師：音喜多信博氏（岩手大学准教授）

概 要：講師（哲学者）による『これからの「正義」の話をしよう』をテキスト本とした講座

(3) パワーブッシュ作家

①高森美由紀氏（三戸町在住作家）

開催日：令和 6 年 4 月 21 日

会 場：三戸町城山公園

概 要：『小田くん家は南部せんべい店』の刊行記念トークイベント

②高瀬乃一氏（三沢市在住作家）

開催日：令和 6 年 7 月 20 日

会 場：デーリー東北新聞社

概 要：『無間の鐘』『春のとなり』刊行記念トークイベント

(4) 本のまち八戸ブックフェス

開催日：令和 6 年 9 月 28 日・29 日（2 日間開催）

会 場：はっち、マチニワ、ブックセンター

概 要：一箱古本市、市内書店・古書店・出版社・飲食店ブース出店、移動図書館車展示貸出
学校図書館ブックリサイクル、絵本展・おはなし会、トークイベント、本を作ろう
講座さがしっこイベント 等

【はっち】

1. マチニワ大道芸 2024

(1) 実施概要

中心街の魅力向上、賑わいの創出等を目的とし、マチニワでプロのパフォーマー等による大道芸を披露するとともに、体験や回遊などを行った。

(2) 出演者（6 組 2 団体）

紙麿呂（マジック）、おじゃるず（ストレンジパフォーマンス）、un-pa（ロービングパフォーマンス）、チクリーノ（サイレントコメディ）、Monta（ジャグリング他）、チャタ（バルーン・スティルト）及び近隣大学大道芸サークル 2 団体

(3) 開催日時

6 月 8 日（土）18:00～20:00 ・回遊 17:45～20:00

6 月 9 日（日）10:00～16:40 ・回遊 9:45～16:40 ・体験広場 12:30～13:10

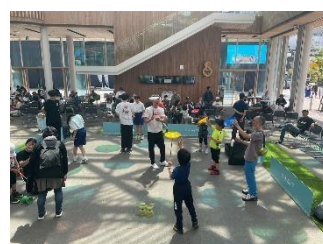
(4) 場 所

マチニワ、中心街、さくら野百貨店

(5) 観覧者数等

6 月 8 日（土）413 名

6 月 9 日（日）760 名 ・体験広場参加者 23 名



2. キッズダンスプロジェクト 舞台づくり学校2024

(1) 実施概要

昨年度に引き続いて開催したキッズダンスプロジェクト。市内の小学生14名が、1カ月半にわたり、ダンスや衣装、音楽を専門家から教えてもらいながら、一つの舞台作品を作り上げ、シアター2で公演を行った。

(2) 参加アーティスト

プロジェクト大山（ダンスカンパニー：古家優里、長谷川風立子）ほか

(3) 開催期間

7月20日（土）～9月16日（月・祝）（ワークショップ11回と公演、アーカイブ展）

(4) 場 所

はっち（共同スタジオ、シアター2、ギャラリー2）

(5) 参加者、観覧者数

○プロジェクト参加者 市内小学生14名

○公演本番観覧者 75名



3. 共生社会プロジェクト 盆踊りディスコ

(1) 実施概要

障がいの有無、年齢等を問わず、プロジェクト大山や泉彩葉氏を講師に迎え、音楽と踊りをみんなで一緒に楽しむ盆踊り企画。大学や福祉施設などの協力を得て、半纏やうちわなど、小道具作成ワークショップも事前に実施した。

(2) 参加アーティスト等

プロジェクト大山、和泉流彩葉会、即興コミュニティ オトノワコネクト

(3) 開催日時

ワークショップ：8月8日（木）13:00～16:00 イベント8月23日（金）13:00～15:00

(4) 場 所

はっち（はっちひろば）

(5) 参加者数

○ワークショップ 40名

○イベント 73名（うち障がい者25名）

(6) 協 力

八戸学院大学 大木ゼミほか



4. パフォーミングアーツ公演事業 タテヨコ企画演劇公演「谷繁2」

(1) 実施概要

シアター2を活用した実演芸術の公演と市内学校へのアウトリーチ（出張ワークショップ）を行う事業。全国公募で選んだ3組のうち、今年度1組目の公演を実施。

(2) 開催日程

アウトリーチ 9月4日(水) 学校名: 鮫中学校(1学年)
演劇公演 9月7日(土) 18:00~19:10
9月8日(日) 14:00~15:10+アフタートーク

(3) 場 所

はっち シアター2 ※アウトリーチ: 鮫中学校体育館

(4) 参加、観覧者数

○アウトリーチ 38名
○公演 71名



5. 天羽やよい展 名もなき南部女に捧げる刺しの花

(1) 実施概要

南部菱刺し制作者・青森県伝統工芸士の天羽やよい氏の作品展を開催した。

(2) 開催期間

9月14日(土)~29日(日)

① 天羽やよい氏トークイベント「刺しが教えてくれること」

9月21日(土) 13:30~15:00

② 南部菱刺しアカデミックトーク「八戸と南部菱刺し ~用の美の魅力について」

川守田礼子氏、伊多波主査(学芸員)

9月22日(日) 13:30~15:00

(3) 場 所

はっち シアター2 ほか

(4) 観覧者数

2,410名 ①トークイベント 38名 ②アカデミックトーク 53名



6. 横丁オンリニューシアター2024

(1) 実施概要

毎年恒例の「八戸横丁月間 酔っ払いに愛を」のメインイベントで、横丁を中心とする中心街を盛り上げるため、空き店舗や路上等、複数個所でのアートパフォーマンスを繰り広げた。

(2) 出演者(9組)

五十嵐ゆうや(ダンスパフォーマンス)、清水宏(スタンダップコメディ)、MICHINOX(演劇)、鷹島姫乃(和風ポールダンス)、Honoka(コントーション)、DANCE WAG(ジャズダンス)、

セ三味ストリート（肉体派津軽三味線）、KANTA（和太鼓）、un-pa（ロービングパフォーマンス）

（３）開催日時

10月4日（金）18:00～21:00、10月5日（土）18:00～21:40

（４）場 所

マチニワ・中心街・横丁各所

（５）観覧者数（有料公演会場） 674名（参考：R5 461名）



【美術館】

1. 展覧会開催実績について

（１）展覧会

①企画展「展示室の冒険」

再開館後2回目となる収蔵品の企画展を開催。自ら選択した順路で鑑賞できるような仕掛け鑑賞アイテムを設置し、来場者の方々が作品との出会いを楽しみ、一点一点を味わえるよう鑑賞体験を提案。

■会期：令和6年4月20日（土）～6月24日（月）

■展示作品：油彩画、版画、陶芸等 収蔵作品 69点

■観覧者数：3,963人



②巡回展「tupera tupera のかおてん。」

絵本やイラストレーションを中心に活動するクリエイティブユニット「tupera tupera（ツペラツペラ）」による「顔」をテーマにした展覧会で、人気絵本の原画をはじめ、映像作品や体験型の立体作品などを展示。八戸ブックセンターや周辺店舗との中心街連携企画も実施。

■会期：令和6年7月6日（土）～9月1日（日）

■主催：青森朝日放送 共催：八戸市美術館

■観覧者数：27,297人（旧美術館及び再開館後における最高入場者数）



・県内の5つの美術館・アートセンターが実行委員会を組織した「AOMORI GOKAN アートフェス2024」の一環として、八戸を拠点に活動する5人のアーティストが、美術館を象徴する「ジャイアントルーム」で、美術館のコンセプト「出会いと学びのアートファーム」を体現するプロジェクトを実施。

・多様なジャンルの作品展示やワークショップを通して、アーティストとの出会いを楽しむ

■参加アーティスト

磯島未来（ダンス）、漆畑幸男（絵画・版画）、しばやまいぬ（版画）、蜂屋雄士（写真）、東方悠平（現代アート、インスタレーション）

■会期：令和6年4月13日（土）～9月1日（日）

■観覧者数：68,430人（令和5年度 同期間 39,750人） 前年比172.15%増 ※
※無料スペースのジャイアントルームでの開催であるため、館内入場者数でカウント。

開館日数（R5：122日、R6：123日）



④コレクションラボ

八戸市美術館の収蔵作品の中から厳選した作品を、毎回テーマを設定し、展示に合わせた実験的なプログラムを行いながら、展示入替の期間を除き通年で展示することで、多彩なコレクションに気軽に触れられる機会を提供。

展覧会名称・会期	内容
007「大久保景造と八戸文化」 令和6年3月23日（土）～7月8日（月） 観覧者数：7,333人	画家、詩人、ジャズ喫茶主人、カルチャー雑誌編集など多方面な文化人である大久保景造を紹介。
008「彩る書」 令和6年7月13日（土）～10月28日（月） 観覧者数：8,866人（R6.9.26現在）	書を感じ、楽しみ方を探り、鑑賞者それぞれが作品に彩りを見出す展示。

⑤八戸市美術展

八戸市文化協会との共催により、全館を使って市民が創作した書道や絵画、写真など多彩なジャンルの作品約500点を展示する。文化協会会員を中心とする展示に加え、広く市民や若手アーティスト、学生等の作品発表の場を提供。

■会期：前期 令和6年9月19（木）～9月22日（日）

後期 令和6年9月26（木）～9月29日（日）

■主催：八戸市文化協会、八戸市美術館

2. その他

（1）賑わい創出事業 等

美術館を身近なものに感じてもらうとともに、中心街の活性化に寄与することを目的に、6月から10月までの期間に毎月1回、マエニワ等を活用して音楽と飲食のイベント等を開催。

① ヨルニワ

日時：令和6年 6月8日（土）18:00～19:30 出演者：I. M. O

日時：令和6年 10月5日（土）18:00～19:30 出演者：WILD WIND BIG BAND

② 音楽のタベ

日時：令和6年7月20日（土）18:00～19:30 出演者：八戸ジャズ楽団

日時：令和6年9月20日（金）18:00～19:30 出演者：triangle Square

③AOMORI GOKAN アートフェス 2024 連携企画

「Aomori GENKI-R0 Trip at 八戸市美術館」

日時：令和6年8月18日（日）19:00～21:00 栗林隆《元氣炉》の展示・映像・ライブ

（2）元氣な八戸づくり市民提案制度「共に創る！アートのまちづくり魅力発見事業」

八戸歴史文化発信事業実行委員会（提案者・事務局：八戸クリニック街かどミュージアム）と連携し、同事業に係る美術館の「共創パートナー」を募り、各々で行われている文化イベント情報を紹介・連携する取組を本格開始。

スマートフォンアプリ「LINE」を利用したイベント情報発信や、HP「はちのへヒストリア」との連携、「街なかアートマップ」の作成・配付、パートナーミーティング等を行う新規「LINE」を利用したイベント情報発信は、令和6年7月からスタート。

【社会教育課】

※施策1 ふれる・ふかめる～文化芸術に親しむ～ 取組方針3 文化施設の文化プログラムの充実と連携

※施策3 まじる・まざる～文化芸術による共生～取組方針1 共生社会の実現に向けた環境づくり

1 八戸市民大学講座

各分野における専門家や八戸市に縁のある方を講師に招き、市民が知性と教養を身につけ、幅広い知見を学習する機会を提供する。5月～11月に10講座を公会堂または公民館ホールで実施。今年度から全講座に手話通訳を配置し、聴覚障害の方も受講しやすい環境を整備した。

○今年度の文化系主な講座

第1講義 5/22 石田 衣良氏 作家が語る「大人の本の愉しみ」（市立図書館150周年記念事業）

第4講義 7/26 本郷 和人氏 戦国時代に学ぶ 現代を生き抜く力（市立図書館150周年記念事業）

第8講義 10/3 木山 裕策氏 今改めて見直す家族の絆・感謝の思い（男女共同参画意識啓発講演会）

※施策4 のこす・いかす～伝統の継承と活用～ 取組方針2 地域に根ざす文化の継承と発展

2 国重要無形民俗文化財「八戸三社大祭の山車行事」指定20周年記念事業

平成16年2月の国重要無形民俗文化財の指定から20年を迎えるにあたり、八戸の風土や歴史を学ぶ機会を提供し祭に対する理解を深めるとともに、社会情勢の変化により顕在化した課題の解決と、将来への確実な保存継承を目指すための各種事業を実施。

1) 横断幕の掲示（令和6年8月1日）

300年の長きにわたり守り伝えられてきた祭礼行事である三社大祭が貴重な文化財であることをPRするため、お通り行列で横断幕を掲示。

2) 重要無形民俗文化財指定20歳（はたち）の記念 出前講座@はっち（令和6年8月4日）

演題：『誰でもわかる三社大祭』

当課学芸員による三社大祭の発祥・歴史や、行列の構成と見どころ解説のほか、オガミ神社に収蔵されている市指定文化財の「享保六年記年銘鉾先」、同じく市指定文化財の江戸時代の人形山車（武田信玄と屋台一式）の見学会を実施。

3) 記念講演会及び祝賀会（令和6年8月31日） 主催：八戸三社大祭山車祭り行事保存会

演題：『まつりはだれのものか～「みんな」でまつりを考えよう』

（國學院大観光まちづくり学部 石垣悟准教授）

祭の運営を支える関係者（神社、郷土芸能、山車組、運営団体、行政担当者など）を対象に、社会情勢の変化を受け様々な課題を抱える「祭」について、保存継承に取り組むための方策についての講演会を開催。（市は開催経費の一部を負担金として支出）

【是川縄文館】

(1) 企画展示

○企画展「縄文・かたちの美-是川遺跡の土製品-」

是川遺跡から出土した土偶・土製品の形や装飾の多様さを紹介する（令和5年12月16日から開催している企画展を5月6日まで延長して実施）。

開催期間：4月1日（月）～5月6日（月・祝）※33日間

来場者数：2,806人（4月1日～5月6日分）

○夏季特別展「縄文の編み／組みの探究」

3年間にわたる共同研究により明らかになった、中居遺跡から出土した藍胎漆器、繊維・編組製品の素材や製作技法を紹介し、縄文時代の植物利用や資源管理を探究する。

開催期間：7月13日（土）～9月8日（日）※57日間

来場者数：7,860人

併催行事：特別展考古学講座（1回：75人）

開催日：8月31日（土）演題：「縄文時代を編む」

講師：佐々木由香氏（金沢大学人間社会研究域附属古代文明・文化資源学研究所特任准教授）

ギャラリートーク（9回：92人）、小中学生向けギャラリートーク（2回：10人）

my かご割引（天然素材のかご持参で見学する方は観覧料割引）

(2) 教育普及

○是川縄文館サポートスタッフ研修会（前期6回）

開催期間：5月18日（土）～6月29日（土）

実施内容：常設展展示解説、体験実習、AED講習、博物館研修等

参加者数：108人

○これかわ考古学クラブ

考古学と縄文時代について学ぶ体験型クラブ（小学5年生～中学3年生対象）

開催日：5月25日（土）、6月1日（土）、8月3日（土）、8月10日（土）

参加者数：12人

○考古学講座（前期3回）

テーマ：「縄文時代の植物利用を読み解く」

開催日：5月11日（土）演題：「X線CTが紐解く、縄文時代の漆工芸の秘密」

講師：片岡太郎氏（弘前大学人文社会科学部准教授）

6月15日（土）演題：「植物を編む-秋田県内の編組品について-」

講師：斉藤洋子氏（秋田県立博物館学芸主事）

7月6日（土）演題：「新たな分析手法で読み解く、是川縄文人の植物利用」

講師：能城修一氏（明治大学黒耀石研究センター客員研究員）

小林和貴氏（東北大学学術資源公開センター植物園学術研究員）

参加者数：155人

○縄文の布を編む講座

カラムシ加工から布編みまでを行う体験型講座

開催日：9月7日（土）

参加者数：16人

○日曜日縄文体験コーナー・夏休み縄文体験コーナー

開催期間：4月7日（日）～9月29日（日）計30回

実施内容：火起こし、土器の文様拓本、土製耳飾り作り、編布、土器・土偶作り、勾玉作り

参加者数：775人

○土曜日体験教室

開催日：5月4日（土・祝）、7月20日（土）、9月14日（土）

実施内容：滑石でペンダント作り（5月）、シカの角でペンダント作り（7月）、合掌土偶作り（9月）

参加者数：64人

(3)埋蔵文化財発掘調査

○埋蔵文化財発掘調査

- ・個人住宅建築、道路改築等に伴う試掘調査・本発掘調査
- ・長芋作付けに伴う本発掘調査(松ヶ崎遺跡)
- ・本八戸駅通り地区整備事業に伴う本発掘調査(八戸城跡)

○埋蔵文化財調査報告

- ・八戸北インター第2工業団地開発に伴う発掘調査整理作業(4月～)
- ・県道整備に伴う八戸城跡発掘調査整理作業(5月～)

(4)是川遺跡の整備活用

○史跡是川石器時代遺跡第1期整備事業

- ・史跡是川石器時代遺跡第1期整備工事地形造成等(8月～)
- ・縄文学習館休館及び史跡是川石器時代遺跡部分閉鎖(継続)

○世界遺産の保存と活用

- ・世界遺産登録PRバ斯拉ッピング掲出(継続)
- ・JR北海道車内誌広告掲載(7月)

(5)資料収蔵管理

○資料保存修理

是川遺跡出土の漆製品6点の修理及び台座作成(5月～)

○収蔵資料整理

収蔵資料のデータベース登録・再整理・再収納(4月～)

(6)広報・情報発信

○図録等刊行

- ・夏季特別展図録
- ・「掘りdayはちのへ-八戸市埋蔵文化財ニュース-」第27号
- ・「年報」第13号

(7)八戸縄文保存協会と連携した活動

○第26回これかわ縄文まつり

「見る」「学ぶ」「遊ぶ」を通し、来館者が縄文文化を体感できるまつりを開催

開催日：8月18日(日)

実施内容：縄文体験、縄文土器習作展、縄文の里を歩こう会、ステージイベント等

【図書館】

1. 冷房設備等改修工事に伴う休館(冷房設備の更新及び照明のLED化)

期 間 令和6年3月1日(金)～令和6年8月7日(水)

〈代替サービス〉

(1)新聞・雑誌等の閲覧

日 程：令和6年3月5日(火)～令和6年7月26日(金)

場 所：YSアリーナ八戸(長根屋内スケート場)

実 績：開所日数 91日 来所者数 2,803人

(2)臨時貸出

内 容：移動図書館車等を活用した貸出、返却、予約、予約本の受け渡し

日 程：令和6年4月～6月 15回

場 所：図書館本館車庫

実 績：来場者数 4,610人、貸出冊数 22,072冊、貸出者数 4,436人4

(3)おはなし会の開催

日 時：4月～7月 毎週土曜日 10時30分～11時

場 所：八戸ブックセンター
内 容：ボランティアによる紙芝居や絵本の読み聞かせ
実施状況：16回 205人

2. 『新編八戸市史通史編Ⅰ』増刷 100部

在庫切れとなった『新編八戸市史通史編Ⅰ』を増刷。

3. 調べる学習チャレンジ講座

内 容 調べる学習の進め方を学び、図書館の本を使いながら調べる学習を実際に体験する。

日 時 6月2日(日) 13:30～15:30

場 所 八戸市立南郷図書館

講 師 中村 伸子氏(白百合女子大学司書教諭課程非常勤講師)

対 象 小学3年生～中学生とその保護者、学校関係者

参加者 合計14名(児童7名、大人7名)

4. 図書館150周年記念八戸市職員ネームプレートの製作・着用

着用期間 令和6年8月1日～令和7年3月31日



(150周年記念職員ネームプレート)

【博物館】

[入館者数 10,855人]

1. 特別展の開催

○夏季特別展「きらめく八戸ー写真・新聞で見る昭和40年代ー」(入館者数 5,160人)

会期：令和6年7月20日(土)～9月16日(月・祝)

併催行事：講演会 2回 延べ270人

ギャラリートーク 2回 延べ17人

2. 企画展等の開催

・新収蔵資料展Ⅰ期・民俗ー(入館者数 2,385人)

会期：令和6年4月13日(土)～5月19日(日)

・新収蔵資料展Ⅱ期・歴史ー(入館者数 1,405人)

会期：令和6年6月1日(土)～7月7日(日)

・ミニパネル展「八戸の災害ー災害と供養ー」(入館者数 2,550人)

会期：令和6年9月1日(日)～9月29日(日)

3. 教育普及活動

○博物館クラブ(小中学生・親子対象) 6回/9回 延べ132人

○市民のための歴史講座(博図連携事業) 今年のテーマ「書籍と図書館」 1回/4回 27人

○館外フィールドワーク

・「八戸城下めぐり」 1回 14人

・小中学生のための城歩き講座」 2回(根城・三戸城) 延べ40人

○その他

・出前授業、見学・体験学習の受け入れ

・講師等派遣

・博物館実習等

史跡根城の広場 [入場者数 13,365 人]

1. 根城おもしろ講座

歴史講演会 3回/3回 延べ114人

体験学習講座 5回/6回 延べ72人

2. その他行事

城の日 4月6日(土) 92人

さくらWeek! 4月12日(金)～21日(日) 延べ3,066人 ※本丸無料開放

鎧と小袖姿で記念撮影 5月1日(水)～6日(月・祝) 64組 203人

根城記念祭 5月22日(水) 102人 ※博物館・本丸無料開放

南郷歴史民俗資料館事業 [入館者数 818 人]

1. 展覧会等

○特別展「こけしーみんな なかよしー」(入館者数 404人)

会期：令和6年7月13日(土)～9月1日(日)

併催行事：講演会「こけし入門」 8人

こけし絵付け体験 37人

ギャラリートーク4回 延べ17人

2. 講座・体験行事

○講座

館外講座 3回/4回 延べ30人

○体験行事

なんごうあそびのひろば 3回/4回 延べ15人